









# 安震アジャスター【L角型】 施工取付けマニュアル【土手無し】

## ■施工前にご用意いただくもの

			
専用治具	土手代替芯材	安震V3・安震α	専用接着剤 安震アイバ・ノズル
			
コーキングガン	ヘラ	ウエス・アセトンやI.P.A	ガムテープなど、空洞のあるもの

## ■施工手順

	手 順	ポイント
①	 <p><b>【必須】設置箇所・治具の掃除</b>            (1)アセトン剤とウエス等にて、設置場所の汚れを取り除いてください。            (2)I・P・A(イソプロピルアルコール) とウエス等にて、治具の裏面と「安震V3」接着面と設置場所の脱脂を行ってください。</p>	<p>ゴミ・塵・<b>油分</b>の無いように、必ず<b>汚れを取り除いてください</b></p> <p><b>施工不良になる原因の一つです</b></p>
②	 <p>先に穴をあけてください</p> <p>「専用接着剤安震アイバ」の挿入口を先端の尖ったもので穴をあけ、ノズルを装着します。            その後、ノズルをニッパー等で斜めにカットします</p>	 <p><b>直径5mmほどの穴が最適です</b></p>
③	 <p>上記手順②で組み合わせたカートリッジをコーキングガンにセットします。            「安震V3」を1枚取り出し、フラットな面のリングの中心にアイバを付けます。  <b>治具側になります</b></p>	<p>「安震V3」に付けるアイバの量は、<b>豆粒大の大きさで十分です</b></p>
④	 <p>③でアイバを付けた面の「安震V3」を治具側にして専用治具に貼りつけます。            その後、「安震V3」に土手代替芯材を装着します  <b>「安震V3」の凸面になっている方が床の設置面です</b>            ※「安震α」の場合、中心が凹面になります</p>	 <p>治具裏面には、「安震V3」を貼る野書き線があります</p>

# 安震アジャスター【L角型】 施工取付けマニュアル【土手無し】

	手 順	ポイント
⑤	 <p>「安震V3」の床面側にアイバを薄く塗布します</p>	<p><b>「安震V3」の床面側にアイバを塗る</b> <b>メリット……</b> 「安震V3」に塗布したアイバが、潤滑油の役割をし、設置時に位置の微調整が可能になる <b>デメリット……</b> 後日、レイアウトを変更したい場合、「安震V3」が床面に残ってしまうので、「安震V3」の再利用が出来ない</p>
⑥	 <p><b>もし、設置時、安震アイバの注入が出来ない箇所の場合</b> 水色の点線部分は、設置後、アイバを注入することは困難です <b>その場合、手順⑦を行ってください</b></p>	<p><b>「安震V3」の床面側にアイバを塗らないと？</b> <b>メリット……</b> 施工後、目地のアイバにカッターで切込みをいれるだけで治具が取れるので、「安震V3」の再利用が可能です <b>デメリット……</b> 設置時に位置決め微調整が困難になります</p>
⑦	 <p>ガムテープなどを数本重ね、台置きし、隠れてしまう面に、事前に、安震アイバを先に塗布しておきます</p> <p><b>その際のアイバの高さは11～15mm程</b></p>	 <p>アイバの量が少ないと、施工不良の原因となります。</p>
⑧	 <p>設置設備を載せ、位置を決めます</p>	<p>⑤で塗布したアイバが、<b>微調整</b>の役割をします</p>
⑨	 <p>アイバを注入します。押し戻しがあるまで、しっかり入れてください。</p>	
⑩	 <p>ヘラでアイバを押し込むように、表面を均します</p>	<p><b>アイバを入れる量が少ないと、施工不良になる恐れがあります</b></p>
⑪	 <p>U字ボルトは仮固定し、<b>12時間以上経過後、付属のボルトをしっかりと締め</b>ます</p>	<p><b>U字ボルト締めつけについて、アイバ注入後、すぐに締めつけても問題はありません。</b> <b>(ただし、位置がしっかり決まらずれない場合)</b></p>